岩盤ボーリング柱状図

調査名　一級河川　太田川水系　青ケ迫川　通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県山県郡安芸太田町田吹	北緯	34° 33′ 05.6712″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和3年 4月28日～ 令和3年 4月30日	東経	132° 12′ 28.3659″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 529.74m	角度	180°（上）～ 0°（下）、90°	方向	北 0°、90°（東）、180°（南）、270°（西）
総削孔長	8.00m	地盤勾配	水平 0°、鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦製BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率(%) / 最大コア長(cm) / RQD(%)	記事	孔内水位/測定月日
1				人工材料	暗灰							100	既設堰堤。硬質な粗石とコンクリートの混合材料(粗石コンクリート)からなる。 GL-0.00～0.20mに化粧石を含む。 GL-0.1mから逸水。 粗石は5～40cm程度の物を含む。 コンクリートは粗骨材を含み，セメントはGL-1.00～2.00m間で軟質化し，GL-3.00m，GL-5.30m付近では土砂化する。	4/28 無し
2												100		
3												100		
4												100		
5	524.34	5.40										100		
6				花崗岩	褐灰	w2 / w3 / w2 / w3	h2 / h3 / h2 / h3	B	Ⅲ / Ⅳ / Ⅲ / Ⅳ	b / c / b / c	CL	5 / 12[12] / 18[27] 100	中～粗粒花崗岩。 ハンマーの打撃で軽い金属音がする。 硬質でCL級を呈するが，縦亀裂が多く発達している。 GL-5.70～6.00m，GL-6.10～6.55m間では一部礫状となる。	4/30 5.70
7						w2	h2		Ⅲ	b				
8	521.74	8.00												
9														
10														
11														
12														
13														

標準貫入試験

深度	N値	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6.00	50以上	貫入不能		
7.00	50以上	貫入不能		
8.00	50以上	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
4/28	25	66/ケーシング	W/D	250	300	0	W2/3	0
				300	300			
4/29	38							
4/30		66	W/D	200	300	0	W2/3	1